

ご協力いただいた
団体名 (敬称略)

特集6

「人間尊重の施設づくりに向けて」

—— 梁川ホーム運営理念具現化への第一歩 ——

ユニットケア

平成十一年の十

二月にユニットケアを試行して（本格開始：平成十二年三月）丸二年を迎えようとしています。

この間、様々な施設からユニットケアについての問い合わせをいただきました。

そこで改めて梁川ホームのユニットケアについて報告させていただきます。

平成九年に開所した当初、八十名の入所者と最大で二十名のショートステイの利用者のお世話をするために二十四名の介護職員と四名の看護職員は、直線距離にして一〇〇メートルを超える施設内を走り回り、まるで毎日が運動会

状態でした。

そんな中で、梁川ホームで生活するお年寄りをどうお世話していくべきか…という施設の「運営理念」を職員全員参加の中で樹立。

※「運営理念」は一面右上段に掲載。

運営理念を掲げたら次はその理念をどのような形で具現化していくかという課題が生まれます。

毎日が運動会のような介護状態の中では安全も安心もゆとりもあつたものではありません。まず食堂を二ヶ所に分けることから始めました。それぞれの食堂で食事を摂るお年寄りがいたい固定してくると、生活範囲もある程度決まってきました。職員の運動会状態も終わりました。

それでも運営理念Ⅱ「お年寄り一人一人の個性を尊重し、家庭的な雰囲気の中で安心してゆったりと過ごしていただく」ということが、具体的なお世話という形に現れるまでには至らず、また煩悶の日々が続きまし

た。ユニットケアという処遇の形があるのと知ったのは、開所して三年目を迎えようとする頃です。自分達で掲げた運営理念を具現化していくために、ユニットケアは最も有効な処遇の形であると思われました。

職員も利用者もいくつかのグループに分かれ、処遇を一つ一つのグループの中で完結させること。お年寄りとは介護する職員が顔なじみになり、職員はお年寄りの身体の状態から精神状態まで、今まで以上に良く知ることが出来る。不特定多数ではない一人一人のお年寄りの声に耳を傾けて、誰が何を望んでいるかを知り、お世話に結びつけていくことが出来る、個別処遇の充実を図ること即ち、梁川ホームの運営理念の具現化に繋がると考えました。



ユニットケアを開始してから職員は今まで以上に忙しくなりました。理由はお年寄りをより身近に感じること、この方にとつてのより良い生活とは何だろうということを実剣に考える、そうするとあれもこれもと

介護に欲が出てきてしまうためです。現在は、様々な形で業務量の軽減を図りながら、運営理念の具現化を目指してユニットケアを続けているところです。

さて、ユニットケアというところまである程度ご存知の方が思い浮かべるのは、利用者と職員が一緒に食事を作り、一緒に食べるという姿のようですが、梁川ホームではこの方式は取っていません。開所して六年目、入所されているお年寄りの状態も年々重度化が進んできています。また新規に入所される方も重度の方を優先させていただいていきます。

職員と一緒に食事を作ることの出来る方はいらっしゃるかもしれませんが、一緒に食事をするより、介助で食事を食べていただかなくてはなりません。

私たちは、お年寄りと一緒に食事を作ったり、食事を摂るといことが、ユニットケアを実施する上での目的とは考えていません。食事はユニットケアの目的、「お年寄りひとりひとりに合ったお世話（個別処遇）」を実現する手段の一つと考えました。

ユニットケアの目指す、お年寄りに寄り添って、お年寄りの生活を支えていくという介護の

あり方が、自分たちの掲げた運営理念に近づいていくためのより良い道であると考えて取り入れられました。

既存の施設がユニットケアを始めようとする時に、様々な条件をクリアしなければ始められないものなのであれば、建物を建て直さなければ始められないという話にもなりかねません。

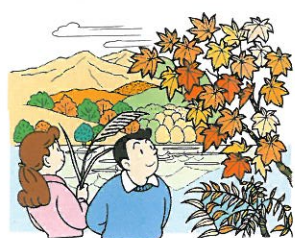
今ある環境を改善しながら、ユニットケアの条件ではなく目指すものに共感し、私たちはユニットケアを始めました。

そういった意味で、梁川ホームのユニットケアは梁川ホームにしか通用しないものかもしれませんが。

いろいろな施設がそれぞれの運営理念を掲げて、その具現化のためにユニットケアを取り入れようと模索しているということを知りました。

これからも、お年寄り一人一人の個別処遇に真剣に取り組むために、形や条件に捕らわれずに我流のユニットケアを進化させていきたい

い、またそんな施設が増えていくことを望んでいます。



梁川ホーム

居宅介護支援事業所等との懇談会

五月二十七日(月)に近隣の指定居宅介護支援事業所並びに在宅介護支援センターの職員の皆様をお招きして苦情解決事業の一環として開催した、「ご意見を承る会」の内容について報告いたします。

ケアハウスに対して

病気で入院後、介護が必要となった状態でケアハウスでの生活が続くことが出来なくなつた場合、どうなるのか：といった質問が出ました。これに対しては、現在ケアハウス広瀬を利用していた方でも自動的に特別養護老人ホームに入所していただくということではなく、入所の申し込みをしていただき、入所順番が来るまではお待ちいただくようになること(これまで病気などにより要介護の状態になった方で梁川ホームに入所された方は三人)を説明した上で、病気やケガなどでケアハウスでの生活を継続することが出来なくなつても、病院に入院したら、そこですぐさま退居ということではなく、その後の生活場所についてご本人やご家族と相談をしながら、ご本人が安心出来る落ち着き先を一緒に考えさせていただいておりますとお返事しました。なお要

介護状態になつても、要介護三程度までであれば外部のヘルパーさんや訪問看護の利用により住み続けることができます。

デイ・サービスへの要望

土曜日もデイサービスを営業してもらいたいという要望が出されました。

今年度からデイサービスでは、土日を除く祝日の営業と、時間延長を実施しています。今後も出来るだけ地域の皆様の要望に沿った形で営業を前向きに検討させていただきます。

ショートステイに対して

冬場寒い時に薄い掛け物一枚で自宅に送って来られたが、寒そうで可哀想だったという家族



ご家族を招いての敬老会 おなかいっぱい食べていただけましたか



エイ、やー、当たれ！ 当たったかな。

のことにつきましては、近い将来実施できるよう検討をさせていただきます。

平成13年度 事故報告

平成十三年度中に発生した事故について件数がまとまりましたので報告いたします。

事故の発生件数で最も多いのは、転倒で全体の三十七%となつています。歩行中にバランスを崩して、または車椅子や椅子から立ち上がった拍子に転倒してしまふケースが多く見受けられます。ただ十二年度の事故件数と比較しますと、十二年度が百二十八件、十三年度が九十八件と若干ではあります減少しました。

対象的に増加したのが、車椅子、ベッ トからの転落事故です。十二年度十五件であったもの



今日は何の日？ 絵になる三美人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	件数合計
転 倒	6	12	4	9	7	7	14	9	8	8	7	7	98
転 落		1	1	3	2	1	1	6	8	8	4	5	40
裂傷・擦過傷		2	1	1	1		1	8	1	3	2	3	23
皮下出血		2	2	1	1	3	1	3	2	1	2	1	19
表皮剥離	2	5		1	3				2	2	2	2	17
異 食	1	2			1	2		1	1	2	2	4	16
誤 嚥	1			1	3	1	1						7
所持品不足						3		1				2	6
骨 折			1	1			1	1			1		5
誤 薬				2			1	3			1		7
打 撲	1						2				1		4
経管自己抜去				1	1								2
貧 血		1	1										2
水 泡											1		1
爪剥離									1				1
捻 挫								1					1
バルーンカテーテル抜去				1									1
薬の紛失											1		1
中庭を這っていた						1							1
施設不備						1							1
車椅子フットレストに足が挟まる						1							1
ベットとベット間に足が挟まる						1							1
無断離園						1							1
ベットから床に下りていた	1												1
エアマット空気漏れ									1				1
義歯欠損									1				1
身をひねる				1									1
床に横たわっていた								1					1
経管栄養の量間違い											1		1
月 合 計	12	26	10	21	19	22	22	31	23	26	24	26	262

平成13年度 事故報告件数

に対し十三年度は四十件と三倍以上に増加してしまいました。これは身体拘束禁止の取り組みとして、ベットの四本柵を廃止したもの、具体的な事故防止への取り組みが遅れたためです。現在は畳にマットレス使用、低床ベットを購入するなどして、転落事故防止に取り組んでいます。

件数としては少数ですが、介護中に起きた人為的事故も目立ちます。ついにつかりが大きな事故に繋がりがねない介護上の事故は、その都度注意事項を記入した用紙を職員に回覧、配布するなどして問題を共有し、他人事という意識を改善していくように努めています。

デイサービスセンター

平成十四年度の新しい試みも軌道に乗り、理髪サービス、マッサージサービス、祝日サービス、延長利用は、多くの利用者及び御家族に大変喜ばれております。

大好評です

行事として、敬老会の催しには、ボランティアによる歌や踊り、昔話など多彩な顔ぶれで利用者を楽しませていただきました。記念に創った写真立てでは、デイサービス利用者の写真を収め、デイサービス来所のよい思い出となりました。

又、新しい企画として、レクリエーションを通して、利用者



うわくカッコイナア。7月より始まった理髪サービスです。大変好評です。

全員一曲運動を実施しております。会話が難しい利用者も、もちろん歌の得意な人も、マイクを向けることで、みんなの前で声を出して歌うことのすばらしさを感じ、機能訓練としています。

秋に向かって、日暮れが早く寒い季節がやってきますが、デイサービスの中は、いつも明るく、暖かい雰囲気と笑いのあるデイサービスを提供するため、試行錯誤を繰り返しております。



昔話に一生けんめい耳を傾けていました。

ケアハウス広瀬

世界中で文明の発達したところには、必ずお酒が生まれたそうですが、歌も同じだと思えます。さまざまな歌が生まれ、人は嬉しいにつけ、悲しいにつけ歌を歌います。そして元気づけられます。一緒に歌う仲間がいれば、なお楽しいでしょう。そんな人々の気持ちカラオケを繁盛させているのでしょうか。

ケアハウス広瀬でもカラオケ喫茶を月一回開いています。カラオケあり、今流行のアカペラありの一時半ほどです。ジャンルは問わず、唱歌あり、演歌あり、そして歌謡曲などです。

歌を歌うのはボケ防止のため？、それとも自慢ののど披露、いやいや浮き世の憂を晴らしのため？、なんでもいいからお腹の中から声を出して楽しんでいきます。

でも、ときどきもっと上手く歌えたらなあと思います。そこで**カラオケ指導の先生を大募集**中です。



リクエストして、歌なら何でもOKよ。



私のオハコは黒田節よ

どなたかボランティアで月一回指導してくださる方はいらっしやいませんか。
連絡先は、ケアハウス広瀬
TEL(577)6600まで



笑顔で熱烈歓迎

高齢者問題は中国でも大問題です。曳地園長から高齢者問題では、少し先輩の日本が行っている介護保険制度や、地域の中で果たす施設の役割について説明がありました。

中国インテグレーションプロジェクト
地域保健訪日団が
梁川ホームケアハウスを視察

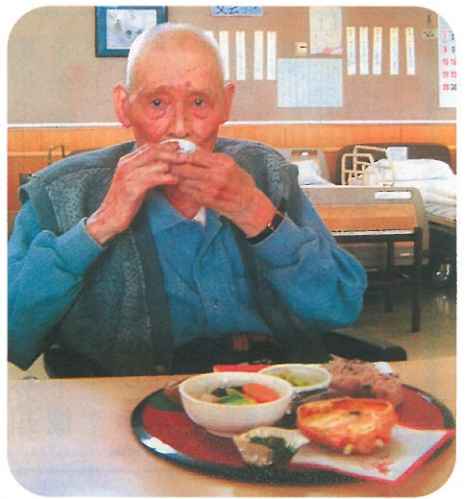


↑10月 うわ～、でっかいイモだナイ。
うまさうだ、焼き芋でもして食べたいなあ～。
利用者と一緒に楽しく行った芋掘りでした。



→5月 芋植えを行いました。一本一本、ていねいに植えました。おいしくて、おおきな芋になりますように。

→佐々木佐蔵さん(99才)
白寿の御祝いです。佐蔵さんは、囲碁がとても得意でマイクも持ち、歌が大変お上手です。

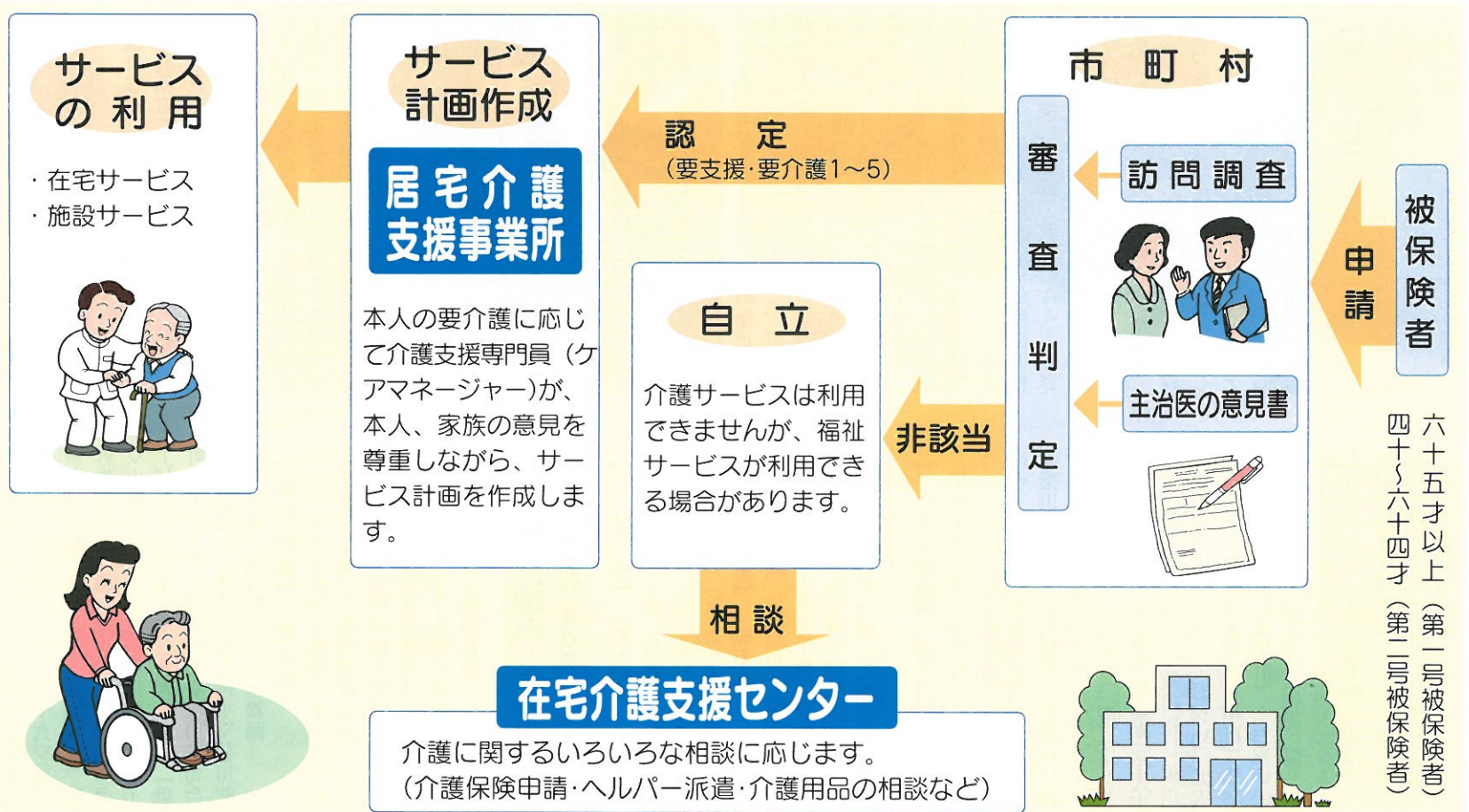


梁川町在宅介護
支援センター
梁川ホーム指定
居宅介護支援事業所



申請からサービス利用まで、
介護支援専門員(ケアマネジャー)が
お手伝いします。よく話し合い、
上手に介護保険を利用しましょう。

まずは市町村の窓口にて要介護認定の申請をしなければなりません。申請から利用までの流れは下図の通りです。
このようにサービスを利用するまでにいくつかの手続きが必要となります。介護が必要かなと思われた時には、まず『在宅介護支援センター』や『居宅介護支援事業所』にご相談下さい。





お年寄りのお世話

Q アンド A

朝、晩の冷え込みが感じられる季節となりました。体調をくずされてはいませんか。

体力の低下しているお年寄りは、それが原因で寝たきりになってしまふ場合があります。そして、気づかぬうちに「褥瘡（床ずれ）」ができてしまっているということがあります。

今回は、『褥瘡』についてお話ししたいと思います。

こまめなお世話が大事

エアマットレスは、除圧用具として簡単に手に入り、かつ最も有効なものの代表です。エアマットレスを使う場合、空気量はなるべく少ないほうがより除圧が行えます。しかし、仙骨部など一番沈む部分がベッドの枠や下に敷いたマットレスにつかない程度には、空気を入れます。最近では、体重を設定すると簡単に体につり合う空気量が入る製品もあります。

② 正しく円座が当たっている、中心部が周りに引張られるため、血流量が低下する。

③ 仰向けになつてしまつて時間が長くなつてしまつていう点からです。

(2) 局所の処置は創の状態が急性期か慢性期か、または細菌感染の有無などにより変わるので医師にご相談下さい。

(3) 褥瘡治療には総合的な栄養管理が必要です。タンパク質、炭水化物や脂肪、その

他、ビタミンやミネラルなどバランスのよい食事を摂りましょう。

以上、褥瘡について簡単に述べてきましたが、褥瘡は一度できると治療するまで時間がかかります。褥瘡を作らない予防的ケアが重要です。

朝・昼・夕の食事のときに一時間くらいずつ座位をとつていれば、ほぼ褥瘡をつくる事はないと言われています。急性期的な病気がなく座位がとれるお年寄りであれば、(特別な事情がなければ) 離床をすすめてみてはいかがでしょうか。

除圧の方法の一つとして円座は有害？ 昔から除去の方法の一つとして円座は使われていました。しかし、「創傷ケアの科学」を出版した塚田邦夫先生は円座の使用は有害であると述べています。その理由として、次の三つを挙げています。

① 深い褥瘡では痛みがないため、ずらして使用されてしまい、除圧でなく加圧になる。

Q 褥瘡ができてしまったときのケアは？

A 主なものに(1)除圧(2)局所の処置(3)栄養管理などがあります。

(1) 除圧するには体位交換をしたり、ビーズパットやフロートレスを使用したりします。

表1 褥瘡の進行度分類

第1度	表皮の損傷は見られず、発赤として観察される。
第2度	皮膚内(表皮真皮内)に留まり、皮下脂肪組織に達していない。
第3度	潰瘍が皮膚全層をこえて、皮下脂肪組織まで達する。
第4度	脂肪組織をこえ、筋肉・筋膜・骨に達する。

塚田邦夫著「創傷ケアの科学」より



お年寄りの健康管理に関する相談が、お気軽にお問い合せ下さい。

主任看護師 野村

ボランティアの来園状況

(平成14年4月～14年9月)

様々なボランティアの方に来ていただき、利用者の皆様の生活の潤いとなつていふことを感謝申し上げます。

▽東北福祉大学 早田純子様(桑折町)、丹治亜由子様(霊山町)：利用者介助・会話▽仙台医療秘書福祉専門学校 八巻早苗様(梁川町)、久保奈緒美様(梁川町)：利用者介助・会話▽福島県立医科大学 八巻翼様(梁川町)：利用者介助・会話▽仙台福祉専門学校 谷口弘樹様(梁川町)、引地 淳様(梁川町)：利用者介助・会話▽白根小学校 六年生担任 佐藤英子様(梁川町)：利用者介助・会話▽保原高校 鈴木正人様(梁川町)：利用者介助・会話▽福島県立医科大学 斎藤正吾様(霊山町)、大石広志様、樋口淑子様、須藤英恵様(梁川町)、鳴海百合子様(梁川町)、桜井郁美様：利用者介助・会話▽大波みき子様(梁川町)：利用者介助・会話▽佐藤 潮様(白石市)：利用者介助・会話▽校の聖母短期大学 佐藤真奈美様(梁川町)、斎藤章様(福島市)：利用者介助・会話▽梁川中学校サマープログジェクト 斎藤彩香様(梁川町)、武田 唯様(梁川町)、藤田瞳様(梁川町)、渡辺 愛様(梁川町)、斎藤沙織様(梁川町)、千葉沙織様(梁川町)、秋葉ひとみ様(梁川町)：会話▽臥龍山興国寺 大方丈様、副住職様(梁川町)：彼岸供養▽梁川幼稚園児様(梁川町)：お遊戯・歌▽しらうめ保育園児様(梁川町)：お遊戯・歌▽霊山町永好会様(霊山町)：踊り・歌

▽ボランティアひろせ様(梁川町)：利用者介助▽J.Aふれあいグループつくし会様(梁川町)：ボランティア喫茶▽梁理ホーム会様(梁川町)：理髪▽梁川町陶芸サポ

▽ト会様(梁川町)：陶芸教室▽栗野婦人会様(梁川町)：オーグー食▽梁川将棋愛好会様(梁川町)：将棋クラブ▽栗野書道クラブ様(梁川町)：書道クラブ▽山本マツサージ様(梁川町)：デイサービスマツサージ▽三浦理容店様(梁川町)：デイサービス理髪▽梁川俳句会様(梁川町)：毎月俳句を掲示▽梁川駅前婦人会様(梁川町)：歌・舞踊

【奉仕作業】(順不同)

▽しらゆり学園様：清掃作業▽五十沢婦人学級様：清掃作業▽栗野ふれあい学級様：清掃作業▽堰本婦人セミナー様：清掃作業▽富野婦人学級様：清掃作業▽梁川ときめきスクール様：清掃作業▽梁川第三長寿会様：除草作業

「芳志」・「遺志」・「寄付」の状況

(平成14年4月～14年9月)

【遺志】(順不同)

▽塚原博俊様(故 塚原信子様) 梁川町
▽小野糸子様(故 小野 功様) 保原町
▽霜山守克様(故 霜山英子様) 梁川町

【芳志】(順不同)

▽加藤宗雄様(福島市)▽田口 衛様(埼玉県)▽小野糸子様(保原町)▽遠藤キヨ子様(国見町)▽菅野 孝様(保原町)▽立川幸一様(福島市)▽鈴木長一様(梁川町)

【寄付・寄贈】(順不同)

○梁理ホーム様(梁川町)：お祝い○ほはら授産所様(保原町)：お祝い○たけの子の家様(保原町)：お祝い○ひろせ梁川太鼓様(梁川町)：お祝い○柳メフォス様：お祝い○梁川ロータリークラブ様(梁川町)：お祝い○柳三品モーター様(梁川町)：お祝い○堀江末子様(梁川町)：お祝い○荒川様(梁川町)：浦野キヨノ様ご家族：お祝い○元火振山火祭り 萩原嘉吉様(梁川町)：お祝い○斎藤ミナ様(梁川町)：お祝い○梁川地区社協様：協賛金○梁川民協会長霜山守二様(梁川町)：お祝い○シルバ人材センター 八巻和夫様(梁川町)：お祝い○J.A伊達みらい様：桃○菅野様(東京都)：手芸作品○岡崎春夫様(梁川町)：季節の野菜